

代表質問

代表質問とは、市政全般について各会派の代表者が行う質問をいいます。

本市議会では年に1回、9月定例会2日目に行っています。質問時間は会派の所属議員数に応じて決まっており、市長または教育長が答弁します。

今回は7会派から12件の質問があり、紙面には質問とその答弁の要旨を掲載しました。

政 和 会 永田政弘議員

すてきに進化するまち
小平市のあしたを目指して

議員 ①来年度予算の基本方針は。

②小平の未来を切り開く成長戦略が必要と考えるがどうか。

③情報システムにおける今後の考え方はどうか。

市長 ①課題や財政状況等を踏まえ10月末を目途に予算の編成方針を決定し、その中で示す予定である。

②財政の硬直化等が進む中で市民と行政の守備範囲を見直し、コンパクトでありながらいきいきとした地域社会が形成され、持続可能な都市を目指していくことが必要と考えている。

③震災時等の業務継続を可能にするため、ICTに特化した業務継続計画を策定するとともに、データセンターを活用したクラウド方式によるシステム導入を検討し、より効率的なシステムの管理運営を目指していく。

小平市が目指す
教育の姿について

議員 ①第2期教育振興基本計画について来年度は具体的にどう取り組んでいくのか。

②生涯学習の充実についてどのような具体策を考えているのか。

③小・中一貫教育の導入に向けた検討の開始を望むがどうか。

教育長 ①教育委員会でも現在小平市教育振興基本計画を策定中で、今後10年間の市の教育が目指す方向性とその実現のための施策を示す予定であり、来年度以降は計画に掲げられた施策を重点的に推進していく。

②学校、家庭、地域の連携による地域教育サポートネット事業、放課後子ども教室等の地域教育を一層推進していく。

③現在は考えていないが、義務教育修了時に達成させたい15歳の子どもの像を設定し、その具体的プログラムの実施により小・中連携教育を行っている。

鈴木小学校の古代の泉からの
一滴を小平の大河へ

永田政弘議員（政和） ①鈴木小学校の湧水が石神井川の源流と考えることはできないか。

②湧水を初めとしたこの地域一帯の文化財等をより広く周知する必要があるのではないか。

教育長 ①石神井川は花小金井南町の小金井カントリー倶楽部付近を源としており、その意味では源流の一部と考えられる。

②本年11月に鈴木遺跡と八小遺跡周辺を歩いて回るウォーキングイベントを実施するほか、さまざまな機会をとらえて文化財等の周知に努めていく。



鈴木小学校の湧水

自然エネルギーの活用で小平版
メガソーラー構想などを目指せ

永田政弘議員（政和） ①小さな落差で可能な小平版小水力発電構想を掲げられないか。

②全地域で自然エネルギーを活用した小平版メガソーラー構想が考えられないか。

市長 ①設置可能な発電機の有無や場所等の課題を整理し、設置の可能性を研究していく。

②市内では太陽光が一番有効な自然エネルギーと考えており、公共施設への太陽光発電設備の計画的な設置とともに市民等に理解を深めてもらい、設置に向けた機運を盛り上げていく。

平成23年度決算 特別委員会を 設置

（市長提案の説明要旨）

平成23年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月9日から4日間開催され、いずれの議案も認定すべきものと決しました。今後、12月定例会初日に委員長報告が行われ、その後採決される予定です。

【一般会計】

歳入総額5百81億9千3百24万円、歳出総額5百63億5千6百98万円、実質収支は16億2千4百29万円となりました。

歳入では、景気の低迷や雇用

の悪化等により市税の減額を見込んでいましたが、法人市民税や市たばこ税等の税収が伸びたことなどから、4年ぶりに前年度の税収額を上回りました。一方、民生費を中心とした基準財政需要額の伸びなどから普通交付税の交付額が増額となりましたので、この財源を財政調整基金の残高確保に活用し、財政運営の安定化を図りました。

歳出では、防災無線自動音声応答サービスの開始、特別緑地保全地区に指定した上水新町一丁目の保存樹林の購入、無料クーポン券を活用した大腸がん検診の実施、あかしあ通りへの自転車レーンの設置など、第三次長期総合計画に基づく事業を着実に実施しました。さらに、東

日本大震災発生後の取り組みとして、防災対策では防災行政無線の増設に向けた音響調査の実

施や家具転倒防止器具の助成の拡充など、放射線対策では空間放射線量の測定や学校及び保育園の給食食材の放射性物質検査などを行いました。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入総額百70億6千9百32万円、歳出総額百65億8千9百99万円、実質収支は4億7千9百32万円となりました。

歳入では、国民健康保険税が前年度に比べ0・8％、2千8百万円の増にとどまり、一般会計からの繰入金が最終的に25億円となりました。

歳出では、被保険者数は前年度に比べ0・6％の減となりましたが、保険給付費は1・4％、1億5千8百万円の増となりました。また、高齢化の進展によ

り後期高齢者支援金と介護納付金を合わせて約3億円の増となり、依然として厳しい財政状況

が続きました。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入では、被保険者数の増により保険料が5千万円の増となり、歳出では、広域連合に納付する療養給付費負担金が7千万円の増となりました。

なお、後期高齢者医療制度の小平市の対象者は約1万7千9百人、歳出総額は29億8千4百75万円です。

【介護保険事業特別会計】

第1号被保険者数は3万7千9百3人、要介護・要支援認定者数は6千9百人となり、ともに前年度より増加しました。歳出の9割以上を占める保険給付費は90億6千98万円で、前年度に比べ6・3％の増となりました。

【下水道事業特別会計】

下水道プランに基づき汚水整備事業では下水道施設の耐震化

工事や合流式下水道改善対策のための雨水浸透工事等を、雨水整備事業では落合川排水区の雨水管渠築造工事等をそれぞれ計画的に進め、歳出総額は42億7千3百41万円となりました。

●委員長 ○副委員長 ■一般会計決算特別委員会

◎永田 政弘

○石毛航太郎

浅倉 成樹

蛇川 浩

小野こういち

小林 洋子

坂井やすのり

佐藤 充

末廣 進

日向美砂子

平野ひろみ

堀 浩治

村松まさみ

幸田 昌之

◎立花 隆一

○細谷 正

磯山 亮

岩本 博子

川里 春治

木村まゆみ

滝口 幸一

常松 大介

津本 裕子

橋本 久雄

宮寺 賢一

山岸真知子

吉池たかき